



県政フラッシュ



2/19 ~20 ~復帰40周年記念事業~ OMC(世界理容美容機構)アジアカップ2012及び第63回全国理容競技大会の開催



表彰式参加者を前にあいさつを述べる上原副知事

日本で初の開催となるOMCアジアカップ2012及び沖縄県では初の開催となる第63回全国理容競技大会が、沖縄コンベンションセンターで開催された。アジアカップは、8つの国と地域から延べ148名の理美容代表選手が参加、併せて開催された全国理容競技大会は、各都道府県から選出された代表選手192名により熱戦が繰り広げられた。

上原副知事は表彰式で「参加された選手の方々の洗練された理美容の技術やデザインの獨創性など、技と美と心を極める理美容師の流儀に触れることができ、沖縄県民も魅了された」とあいさつした。沖縄県では、復帰40周年を記念し各種事業を企画している。その1番目の事業としてこの両大会を開催、その中で鎮魂の思いと平和への願いを込め全国の理容師により作成された20万羽の折り鶴が、沖縄県に贈呈された。折り鶴は現在、平和祈念資料館で展示している。

3/4 ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント表彰式



優勝した齊藤愛璃プロへ県知事賞を授与

3月2日~4日の3日間、琉球ゴルフ倶楽部(南城市)にて、国内女子ゴルフツアーの開幕戦である「ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント」が開催された。

今年25周年の節目を迎えた今大会では、デビュー1年目の齊藤プロがプレーオフの末に初優勝を飾り、最終日の会場は大きな盛り上がりを見せた。また、県出身のアマチュアゴルファーである比嘉真美子選手が16位タイと大健闘し、注目を集めていた。大会終了後には引き続き表彰式が行われ、仲井真知事より優勝した齊藤プロへ県知事賞を贈呈、併せて、ここ沖縄にて25年間大会を継続いただいているダイキン工業株式会社井上会長へ、知事より感謝状を贈呈した。

2/27 野田内閣総理大臣が 就任後初来県



県庁で行われた野田内閣総理大臣との会談の様子

就任後初めて来県した野田佳彦内閣総理大臣は、県庁で仲井真知事及び県幹部と会談し、米軍基地問題や、沖縄振興について意見交換した。

会談で仲井真知事は、米軍普天間飛行場について「辺野古移設案は時間がかかる。国内の別の地域を探した方が早い」と、同飛行場の県外移設を求めた。これに対し野田総理大臣は、「辺野古崎への移転が日米両政府は唯一有効な方法と確認しながら進めている」と述べ、名護市辺野古へ移設する政府方針を堅持する考えを示した。また、野田総理大臣は、民主党政権下の普天間問題の迷走や、前沖縄防衛局長の不適切発言について、仲井真知事に謝罪した。

3/13 復帰40周年記念式典 推進本部が発足



推進本部の看板を設置する仲井真知事

3月9日、県は復帰40周年記念式典推進本部を県庁内に設置し、同月13日には本部長となる仲井真弘多知事と事務局長の饒平名知成統括監が看板を掲げた。

記念式典は、国との共催の下、5月15日(火)に宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開催する。参列者は、野田佳彦首相、衆参両院議長、最高裁判所長官をはじめ、沖縄県の関係者、各界代表、沖縄県と関係の深い外国関係者など約1700名を予定。知事は「日本全国のお力添えあって沖縄も見違えるようになった。これから先に向かう決意を新たに。沖縄の文化・自然を誇りにしっかりと国際社会の中でやっていく。140万県民が手を取り合いあい21世紀ビジョンの実現にまい進したい」と述べた。

目次

- 2 県政フラッシュ
- 4 **特集1** 第6回太平洋・島サミット開催
- 6 **特集2** 特定非営利活動促進法が変わりました!
- 8 **特集3** 子どもと女性を性犯罪等の被害から守るために
- 10 飛び出せOKINAWA!! ヒト・モノ・企業のグッドジョブ 「株式会社 琉珉珉」
- 12 県のうごき1 墓地等の設置については事前に許可をとりましょう!
- 13 県のうごき2 地域の子は地域で守り育てよう!
- 14 情報ひろば お知らせ
- 16 つながりつづくよ人の輪地域の和 「金武町」

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみならずにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用できる施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗、モノレール各駅で無料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課ホームページでご覧になれます。

美ら島沖縄 検索 <http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>

沖縄県知事公室広報課 TEL.098-866-2020

表紙について

次代へつなげたい沖縄

師匠から弟子へつなぐ「読谷山花織」 15世紀初め頃から織られ始めましたが、需要の減退で織り手も少なくなり消滅の危機に。昭和30年代に、有志によって技術が復興され、昭和50年に沖縄県指定無形文化財に、昭和51年に経済産業大臣指定伝統的工芸品に認定。(撮影協力:読谷山花織 座喜味工房)

14日	13日	12日	11日	7日	5日	4日	3日
沖縄県行政監理本部	要請 OISTとの連携協定書調印式 仲井建臣氏ほか	要請 土木建築部 法令遵守に係る研修会	東日本大震災1周年追悼式(国立劇場 東京)	要請 公明党沖縄県本部	表敬 東日本大震災被災者支援県民会議感謝状贈呈式 吉本興業(株) 代表取締役社長 大崎洋氏	要請 沖繩平和賞への寄付金贈呈式 ※沖繩経済同友会 (社)沖繩県トラック協会会長 國吉保武氏	面談 アシアナ航空社長 尹永斗氏
						ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント表彰式	

2日	3月	27日	25日	20日	19日	18日	17日
要請 宮古島市長 下地敏彦氏		面談 内閣総理大臣 野田佳彦氏	沖繩国際大学創立40周年記念式典・祝賀会	衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会との意見交換会	OMC(世界理容美容機構)アジアカップ2012 ウェルカムパーティー	表敬 防衛大臣 田中直紀氏	沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会要請及び沖振法軍転法支援依頼



沖縄の人口・世帯の動き

人口
140万5,740人
※前月比862人増

世帯
53万3,424世帯
※前月比483世帯増

※平成24年 2月1日現在

第6回 太平洋・島サミット開催

日本と太平洋の島国との交流拠点・ 沖縄を目指して



太平洋の島国に対する 沖縄県の協力など

過去の島サミットで採択された首脳宣言に基づき、さまざまな支援が行われています。現在、JICA沖縄国際センターを通し、県内組織が実施している技術協力などをご紹介します。

① 水資源保全管理研修の実施

沖縄県企業局では、本県の総合的な水資源管理のノウハウを伝えるべく、平成22年度より太平洋の島国の水道事業関係者を受け入れ、市町村の協力も得ながら、県内各地で研修を実施しています。

② サモア水道公社に対する 水道事業運営の支援

宮古島市は、平成22年度から、サモアが課題とする漏水や雨期の水



宮古島市役所職員による技術指導

濁、浄水場の運営管理を軸に、「宮古島モデル」として自らの経験を踏まえた支援協力を行い、同公社の人材育成及び組織力強化を図っています。

③ ババウ島に対するリサイクル ビジネス確立に向けた協力

那覇市とNPO法人沖縄リサイクル運動市民の会は、平成23年度よりトンガのババウ島に対し、本県のノウハウを活かした持続可能な廃棄物管理を支援し、資源化によるリサイクルビジネスの確立に向けた協力を行っています。



リサイクルビジネスの確立に向けた協力

④ 水ビジネス検討会

平成23年、沖縄県経営者協会は、JICA沖縄及び宮古島市の共催を得て、太平洋の島国における水分野をはじめとしたビジネス創出

5月25日・26日、第6回太平洋・島サミットが沖縄県名護市にて開催されます。太平洋・島サミットは、太平洋の島国が直面しているさまざまな課題について、日本がこれらの国々及び関係国と共に取り組むために主催している首脳会議です。本県では、過去、平成15年に第3回、平成18年に第4回会議が開催されており、開催地になるのは今回で3回目です。

沖縄県と 太平洋の島国の関係

太平洋の島国は、大統領をはじめとした政財界のリーダーも輩出されるほど多数の日系人が存在し、国際社会においても日本の立場を支持してきたなど、日本とのつながりが深い親口国家です。

特に沖縄県とは、同じ「島」であるが故に抱えざるを得ない廃棄物

処理や経済的活動における課題のほか、気候・文化面でも多くの共通点を有しています。

本県は、これまで多数の国際会議を誘致していますが、我々と多くの共通点を持つ島国の首脳が一同に会し、関係国と共に直面している課題の解決に向けて話し合う太平洋・島サミット(以下、「島サミット」)は、本県にとって特別な国際会議と言えるでしょう。

Q&A

● 太平洋・島サミット

Q:どの国が参加するの?

A:日本と太平洋の島国13カ国1地域(※)、オーストラリア、ニュージーランド、米国です。米国は、第6回太平洋・島サミットが初参加となります。

※キリバス、クック諸島、サモア独立国、ソロモン諸島、ツバル、トンガ王国、ナウル共和国、バヌアツ共和国、バブアニューギニア独立国、パラオ共和国、フィジー共和国、マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦、ニウエ

Q:太平洋の島国について教えてください。

A:太平洋の島国は、小さな島々を意味する「ミクロネシア」、黒い島々を意味する「メラネシア」、多くの島々を意味する「ポリネシア」の三地域に区分されます。

ミクロネシア

日本が過去に統治していた歴史的背景もあり、日本の言葉や文化が残り、多くの日系人が活躍しています。

メラネシア

火山島が多く、熱帯雨林が広がっているため、資源に恵まれています。

ポリネシア

航海術に優れた海洋民として知られる一方、音楽や芸能が各地で継承されている地域でもあります。

第6回太平洋・島サミット

① 開催地主権プログラム

島サミットの期間中、開催地では島サミットに出席する各国首脳等を歓迎するため、知事主催の昼食会や地元との交流会などを主催します。

当地で3回目の島サミットとなる今回、沖縄県では、県主催行事の開催地に初めて離島の宮古島市を含め、新規に「高校生太平洋・島サミット」を行うことにより、復帰四

② 高校生太平洋・島サミット

十周年という節目の年に開催されるに相応しい歓迎プログラムを用意しています。

5月23日から26日までの4日間、日本人高校生32人と島サミットに参加する太平洋の島国13カ国1地域、オーストラリア、ニュージーランドの高校生32人の計64人が、エコアイルランドを掲げる宮古島市にて、環境について学び、意見交換を行います。

成果として、島サミットに参加する各国首脳に提言を行う予定です。また、期間中は地元高校への入学や、ホームステイ体験も予定しています。

高校生太平洋・島サミット参加者の声

参加が決定した那覇西高校国際人文科の篠原真音さん、友利彰裕くん、仲里クリスくんの3人に聞きました。

Q:応募したきっかけは?

篠:海外研修で積極的に取り組むことの大事さを学んだので、高校生島サミットにもチャレンジしてみようと思いました。

友:沖縄、日本について海外の人がどう思っているのか知りたかったからです。

仲:父親が米国人で、世界情勢についてよく話してくれることもあり国際事情に関心があります。また、泡瀬干潟でのボランティア活動を通して、環境への関心を持つようになったからです。

Q:参加者に決まった感想を聞かせてください。

篠:自分の夢に近づくためのチャンスをもたらってくれたいです。

友:同じ学校から3人合格できてうれしいです。会場の宮古島は僕の両親の地元。海的美しさを自慢したいです。

仲:多くの国の人と意見交換ができることがうれしいです。



向かって左から
仲里くん、篠原さん、友利くん

お問い合わせ 県交流推進課 TEL:098-866-2479 FAX:098-866-2765

認定制度とは..

平成13年から、一定の基準*等に達し国税庁(平成24年4月より都道府県)が認定した法人に対し、寄附に関する税制上の優遇措置が創設されました。

沖縄県内の認定法人は、2法人(アンビシャス、メッシュサポート)

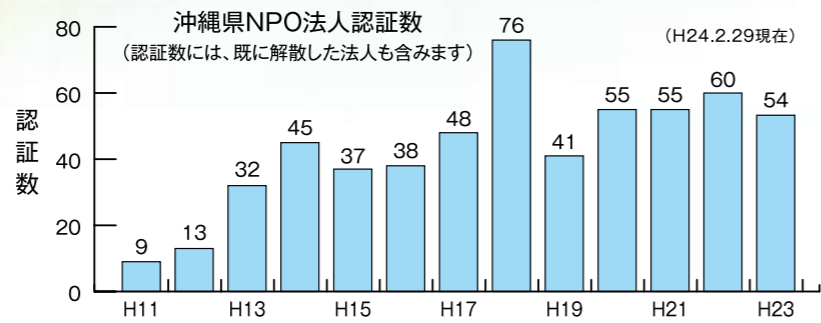
【一定の基準*とは】

- 実績判定期間(直前の2事業年度)における以下の要件をすべて満たすことが必要。
 - ①パブリック・サポート・テスト(PSP)を満たしていること。
(収入に占める寄附金の割合が20%以上又は、3,000円以上の寄附者が100人以上)
 - ②事業活動に占める共益的活動が50%未満であること。
 - ③運営組織及び経理が適切であること。
 - ④事業活動の内容が適切であること。
 - ⑤情報公開を適切に行っていること。
 - ⑥法令違反、不正の行為、公益に反する事実等がないこと。
 - ⑦2事業年度経過していること。
- *当該要件については、都道府県が認定する場合も同じとなります。



沖縄県内NPOの状況

沖縄県内における特定非営利活動法人(NPO法人)の認証状況等
平成24年2月29日現在の法人数
521法人



●活動分野別法人数

分野別	法人数	比率
(1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動	280	53.7%
(2) 社会教育の推進を図る活動	271	52.0%
(3) まちづくりの推進を図る活動	248	47.6%
(4) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	201	38.6%
(5) 環境の保全を図る活動	172	33.0%
(6) 災害救援活動	18	3.5%
(7) 地域安全活動	43	8.3%
(8) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動	71	13.6%
(9) 国際協力の活動	88	16.9%
(10) 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	14	2.7%
(11) 子どもの健全育成を図る活動	242	46.4%
(12) 情報化社会の発展を図る活動	33	6.3%
(13) 科学技術の振興を図る活動	20	3.8%
(14) 経済活動の活性化を図る活動	97	18.6%
(15) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	161	30.9%
(16) 消費者の保護を図る活動	11	2.1%
(17) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	254	48.8%

※複数分野の活動を行う法人もあるため、認証法人数と活動分野別法人数の合計は一致しません。

お問い合わせ 県民生活課 TEL:098-866-2187 FAX:098-866-2789

特定非営利活動促進法(NPO法)の目的について

・特定非営利活動を行う団体に法人格を付与すること並びに運営組織及び事業活動が適正であって公益の増進に資する特定非営利活動法人の認定に係る制度を設けること等により、ボランティア活動をはじめとする市民が行う自由な社会貢献活動としての特定非営利活動の健全な発展を促進し、もって公益の増進に寄与することを目的とする。(第1条)

改正等の経緯

平成10年12月1日施行(平成10年法律第7号)
平成15年5月1日一部改正施行
①特定非営利活動の種類追加(12→17) ②設立の認証の申請手続きの簡素化
③暴力団を排除するための措置の強化
平成23年6月改正、平成24年4月施行(今回改正)



Q1.活動分野が追加されたと聞きましたが。

A1. 現在、17の活動分野がありますが、それに2分野が追加されました。また、地域の特色を反映させるため、条例で独自に定めることも可能となっています。

追加分野: ①観光の振興を図る活動
②農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
追加分野に係る活動をされている法人は、特に定款を変更しなくてもこれまでどおり活動できます。

Q2. NPO法人の会計が変わるのでしょうか。



A2. これまでは収支計算書(1年間のお金の出入り)を作成していましたが、今回の改正で活動計算書(1年間の収益と費用の計算)に変更になります。また、活動計算書と貸借対照表が計算書類となり、財産目録はこれらを補完する書類となります。

「活動計算書」とは、営利企業の損益計算書に相当するもので、会費や事業費などによって得た収益と事業に要した費用、運営費用などを記載し、法人としての体力(財源)がきちんとあるのかを、把握しやすくなります。記載にあたっては、事業費も内訳を記載する必要があるとか、これまでその他事業を別業で作成したものを、1枚にまとめることができるなどが大きな変更点となります。



Q3.4月から認定制度を県が実施するのはなぜですか。また、認定NPO法人と仮認定NPO法人とはどう違うのでしょうか。

A3. 認定制度はこれまで国税庁で実施していましたが、認証と認定を同じ部署で担当することにより、設立から認定までの一貫した流れの中で対応できるように今回改正されました。

また、認定の基準は寄附金の実績が必要であることから、設立間もない団体の支援のため、今回の法改正により「仮認定制度」が創設されました。認定・仮認定ともに、市民が寄附によりNPO法人を支援しやすい(寄附者が所得税や住民税の控除が受けられる)環境整備のために設けられたものです。

なお、法律の経過措置として、平成27年3月までは5年以上の法人でも仮認定を申請することができます。

①判定基準が違います。	認定(1-7の基準全て)	仮認定(PST以外)
②有効期間が違います。	認定(5年間)	仮認定(3年間)
③期間満了後が違います。	認定(再申請可能)	仮認定(1回限り)
④税制優遇が違います。	認定(法人自身のみなし寄附金対象)	仮認定(対象外)

特定非営利活動促進法が
変わりました!

子どもと女性を性犯罪等の被害から守るために

沖縄県警察『子ども・女性安全対策係』の活動

沖縄県警察では、子どもと女性を性犯罪等の被害から守るため、平成21年4月から、安全なまちづくり推進課内に『子ども・女性安全対策係』（通称：JWAT）を設置して、子どもや女性を対象とした性犯罪の前兆とみられる声かけ、つきまとい、盗撮、のぞき見などの脅威事犯について専門的に捜査を行い、犯人（行為者）を特定して検挙または指導・警告措置を講ずる先制・予防的活動を行っています。

※「JWAT」子どもと女性を守るチームを意味する英語の頭文字を使った略語

県内における性犯罪発生検挙状況

性犯罪とは、刑法に規定されている『強姦罪』や『強制わいせつ罪』などの犯罪をいい、平成23年中の県内における性犯罪の認知及び検挙件数は、強姦が8件認知で7件検挙、強制わいせつが64件認知で50件検挙、合計72件認知（前年比2増）で、57件（前年比7増）検挙しました。

『子ども・女性安全対策係』の活動と先制・予防的活動の重要性

子どもと女性に対する性犯罪は、被害者の平穏な日常生活を突如として破壊し、被害者の心身に重大な影響を与えるほか、地域住民にも著しい不安を与えます。この種の事件については、事件発生の前段階で、いわゆる声かけ、つきまとい、痴漢などの前兆事案である脅威事犯が発生していることが少なくなく、法令違反に当たらない場

脅威事犯の発生状況の推移

『子ども・女性安全対策係』が、県民のみならずから警察に寄せられた脅威事犯について集計したところ、平成21年4月（係の発足）から昨年12月までの約3年間、ほとんどの分類項目で増加傾向にあることが分かりました。

脅威事犯分類別認知件数	声かけ	つきまとい 立ちふさがり	待ち伏せ 見張り	誘い込み	卑わいな言動	露出	はいかい	盗撮	のぞき見	その他の 暴力的行為	その他	合計
平成23年	90	41		15	62	67		28	16	9	14	342
平成22年	71	25		16	71	24	1	24	10	3	20	265
平成21年	16	5		3	18	2				2	8	54

脅威事犯の解決（検挙・指導・警告）の状況

平成23年中、県民のみならずから寄せられた脅威事犯について、『子ども・女性安全対策係』が各警察署担当者と連携して捜査し、迷惑防止条例違反や軽犯罪法違反などの犯罪で検挙した件数（人員）は16件

（2）指導・警告措置の事例

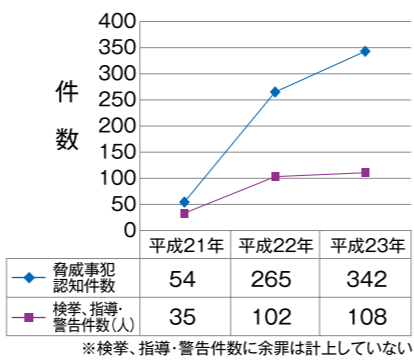


- ア 宜野湾市内の路上における女子児童対象のつきまとい事案
- ☆行方者 D男（50代）、警告措置（3）／1
- イ 浦添市在のスーパーの代表電話に対するわいせつ電話事案
- ☆行方者 E男（20代）、警告措置（5）／12
- ウ 那覇市内を走行中のモノレール車内における女子高生対象のつきまとい事案
- ☆行方者 F男（40代）、警告措置（12）／12

（1）検挙活動の事例

- ア つるま市在のスーパーにおける女子高生対象の盗撮事案
- ☆被疑者 大学生 A男（20代）、迷惑防止条例違反で現行犯逮捕（2）／10
- イ 北谷町北前1丁目における強制わいせつ事件
- ☆被疑者 専門学校生 B男（20代）、強制わいせつ罪で緊急逮捕（6）／15
- ウ 那覇市久茂地における女性トイレ内における盗撮事案
- ☆被疑者 無職 C男（40代）、建造物侵入罪で通常逮捕（10）／28

【脅威事犯認知件数と解決件数】



脅威事犯の分類



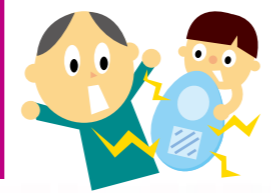
子ども・女性安全対策係では、脅威事犯を次のとおり11分類しています。

- ① 声かけ** 正当な理由なく、つて、言いがかり、卑わいな言葉などの方法により人に声かけするもの
- ② つきまとい・立ちふさがり** 正当な理由なく、人につきまとい、または進路に立ち塞がって人に不安を覚えさせるもの
- ③ 待ち伏せ・見張り** 正当な理由なく、人を待ち伏せし、または住居などの付近で見張りをするもの
- ④ 誘い込み** 人を車やほかの場所に誘いこむもの
- ⑤ 卑わいな言動** 人を恥ずかしめ、または不安にさせる下品でみだらな言動
- ⑥ 露出** 公然と性器を露出、また自慰行為などのわいせつ行為をするもの
- ⑦ はいかい** 同じ場所を往復するなどして人に不安を与えるもの
- ⑧ 盗撮** 人の衣服または下着をのぞき見し、または撮影すること
- ⑨ のぞき見** 浴場、便所、更衣室などをのぞき見しまたは撮影すること
- ⑩ その他の暴力行為** 人の身体を害するおそれのある行為
- ⑪ その他** 右記以外の性犯罪等の前兆事案とみられる行為

情報提供依頼

県警察では、子どもと女性を性犯罪等の被害から守るため、犯罪情報や不審者情報などを常に受け付けています。情報提供の際は、お近くの警察署、交番、駐在までお願いします。

プレーヤーを操作しない。
防犯ブザーなどの防犯グッズを活用する。
「イカのおすし」を守りましょう。
ナンパなどの誘いに乗らない。



「安心ゆいメール」会員募集

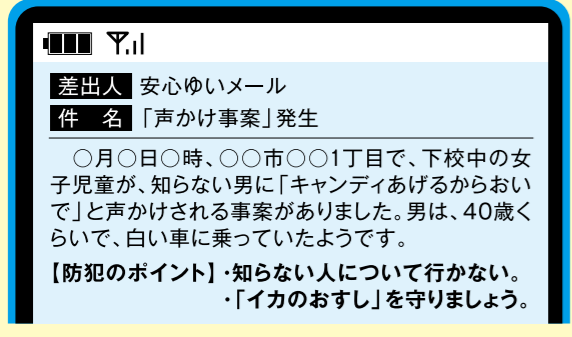


県民のみならず地域に関する情報をタイムリーかつピンポイントに提供し、事件・事故の未然防止や自主的な防犯活動などにお役立ていただくための情報を配信するサービスです。

【登録方法】
①お手持ちの携帯電話・パソコンから、次のアドレスへ空メール（件名、本文を記述しないメール）を送信してください。
touroku@yui-ml.police.pref.okinawa.jp
②返信メールに記載されたURLにアクセスしてください。
③アクセス先に記載された登録手順に従って登録してください。

【ご利用にあたって】空メール送信後に、返信メールがない場合は、「yui-ml.police.pref.okinawa.jp」ドメインの受信許可と、URLコード付きメールを受信できるように設定してください。設定方法は機種により異なりますので、販売店などへお問い合わせください。注意：登録は無料ですが、メール受信に伴う通信料は受信者の負担となります。

「安心ゆいメール」の受信例



お問い合わせ 県警察本部安全なまちづくり推進課・子ども・女性安全対策係(JWAT) TEL:098-862-0110 FAX:098-861-8609

ヒト・モノ・企業のグッジョブ

株式会社琉珉珉

沖縄を飛び出し、県外や海外で認められているヒトやモノ・コト、企業のおふれるパワーをお届けします。



自社工場でオリジナル餃子を作っている「株式会社 琉珉珉」

四十年以上の歴史を持つ老舗店の餃子に沖縄らしさを加味

勝連もずくや伊江島ソデイカ、糸満の美らキャロットやゴーヤーなど、沖縄の地域資源をふんだんに使ったオリジナル餃子を製造・販売している株式会社琉珉珉。「戦時中に満州で本場の餃子づくりを習って沖縄に戻った祖父が、精肉店を営みながら餃子を作ったのがはじまり。親子三代続く餃子は、四十年以上の歴史を誇る自慢の味がルーツ」と話す同社社長の比嘉竜児さん。

十一年以上前に自慢の手作り餃子を県内量販店へと売り込んで評判となり、一日一万个以上を製造するまでに業績を伸ばしました。祖父や母が作る餃子の中身は普通の豚肉や野菜が主でしたが、勉強や試作を繰り返して皮から自家製にし、沖縄オリジナル餃子第一号と



株式会社 琉珉珉 代表取締役社長 比嘉竜児さん

立場の異なる組織の連携で多角的な視野を学ぶ

同じ頃、もずく養殖で日本一の生産量を誇る勝連漁協では、もずくの供給過剰にあえいでおり、餃子の材料にもずくを使うことで消費拡大を図ろうと同社へ商品開発を依頼。このプロジェクトはその後、勝連漁協と琉珉珉の他、コープおきなわや給食センター、うるま市商工会、うるま市役所や沖縄県など計十二組織が知恵を出し合う「農商工連携事業」に発展。「多くの組織と知恵を絞りながらの商品開発は、作り手や購買者の意見・視点な



県内の地域資源を材料にしたさまざまなコラボ商品。長年のノウハウが生かされている

ど、さまざまな角度から検証ができて勉強になった。その後、県内の地域資源を使った餃子を開発する際にも役立っています」と比嘉さん。二〇〇八年十月に完成した商品は、地元中高生の沖縄版ミュージカル「肝高の阿麻和利」にちなんだ商品名で売り上げの一部が公演活

動費に充てられ、うるま市の学校給食にも採用されています。同社の餃子は沖縄県物産公社を通じて餃子の本場である香港へ

アジアそして欧米への本格進出も視野に入れて

製造・催事担当の富盛幸太さんを紹介します。



金属探知機で異物混入がないか確認を行う富盛さん

現在は工場での製造と販売を担当。製造では異物混入を防ぐ衛生面の徹底を心がけ、販売では作り手の気持ちを考えながらおいしさをアピールしています。当社の餃子は一部の時期を除き、糸満のキャベツや宜野座のニラ、県産豚肉などすべて県産のものを使った自家製。本土の物産展では沖縄オリジナルの餃子に驚かれる方が多いです。実家が農家なので、いつか実家のさやいんげんを使った餃子も開発してみたい。

活躍する若手社員さん

沖縄を代表する餃子を誇らしい気持ちで製造・販売しています。

株式会社 琉珉珉 製造・催事担当 富盛幸太さん



マカオの「ヤオハン」で販売されているオリジナル餃子。現地では日本語表記が品質の証になるそう



香港にある「そごう」で大きなスペースを取って販売されているオリジナル餃子

「香港や中国では餃子は蒸すかゆでるのが一般的。焼き餃子がとても新鮮だったようで、その着眼点が良かった。また、ゴーヤーやもずくなどの沖縄素材を材料にした餃子はこれまでになく、しかもおいしいと好評を得ています」と比嘉さん。「与那国のまぐろ、国頭のイノブタなど地方には宝物のような地域資源がある。作り手とさらに連携を図って、ものづくりを発展させたい」と沖縄から海外への発信に意欲的です。

沖縄素材を使ったオリジナル性が認められたのね。

世界から認められたポイント！



CGG運動「県民一斉運動」(十一月第三日曜日)
「CGG運動」は、平成十五年北谷町の事件(集団暴行致死事件)等を受け、翌年、同連絡会が「県CGG運動実行委員会」を立ち上げ、

「おきなわ地域教育の日」(毎月第三土曜日)
平成二十一年三月末で起きた集団暴行致死事件を受け、一年を通して「地域の子は地域で守り育てる」気運を図る仕組みをつくるため、平成二十二年四月に沖縄県社会教育関係団体等連絡会は、「おきなわ地域教育の日」(毎月第三土曜日)を設定しました。
実施日・内容等については、各市町村民会議及び教育委員会、各関係団体等と連携し、これまで取り組まれている「CGG運動」や伝統行事を「おきなわ地域教育の日」の中に組み入れ、地域の実情に応じた取り組みを行います。



清掃活動



子どもと大人がふれあう活動

今年で九年目を迎える県民一斉運動です。地域の子どもと大人がふれあう活動や清掃活動等を通して地域の教育力の向上を目指すことを目的に、「御万人すりて

地域の子は地域で守り育てよう!
「おきなわ地域教育の日」・「CGG運動」の活用
近年、沖縄県では、子どもが被害者・加害者となる事件事故があつたを絶えず、深刻な社会問題となっております。これは、「コミュニケーション不足や青少年と地域とのつながりが希薄になってきていること等がその要因とされています。県民全体で「地域の子は地域で守り育てる」気運を高めましょう!



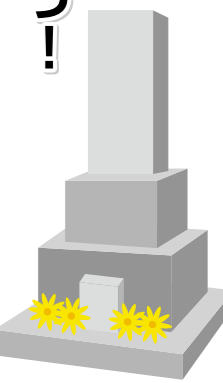
「おきなわ地域教育の日」活動例
①これまでの活動を子どもたちとともに活性化させましょう
②大人と子どものふれあいの場をつくりましょう(CGG運動など)
③声かけ運動とともに、安全・安心な地域づくりを目指しましょう
④子どもたちが主役となるような心の居場所をつくりましょう
⑤子どもたちに基本的な生活習慣を身につけさせましょう

「おきなわ地域教育の日」の活用
市町村や各地域(自治会、社会教育関係団体、青少年育成関係団体等)で、子どもたちを見守る体制をつくり、活動例を参考に、子どもたちが仲間同士や地域の人とふれあい、様々な活動を行うことで、地域の中で子どもが育つ活動を進めます。また、親同士や親子でともに活動できる場を設けるなど、子どもたちの心の居場所づくりを心掛けて楽しく過ごせるようにしましょう。

「おきなわ地域教育の日」の活用
資料① 「CGG運動」参加者の推移
年度 参加者(延べ)
平成16年度 約42,000人
平成17年度 約58,000人
平成18年度 108,636人
平成19年度 138,116人
平成20年度 143,342人
平成21年度 154,888人
平成22年度 177,358人
平成23年度 224,536人

お問い合わせ 沖縄県社会教育関係団体等連絡会事務局 (沖縄県教育庁生涯学習振興課) TEL:098-866-2746 FAX:098-835-9547

墓地等の設置については、事前に許可をとりまじょう!



県内における墓地の現状と課題
墓地、埋葬等に関する法律(以下「墓地埋葬法」という。)では、墓地の経営については、永続的な管理と公益性、非営利性を確保することが強く求められています。そのことから、墓地埋葬法では、墓地の経営については、市町村、それにより難しい場合でも宗教法人等が経営することが原則とされています。
しかし、本県の墓地は、戦前から特有の形態があり、個人墓の設置が認められてきており、そのことから個人墓の散在化や法人墓の規模拡大が、公衆衛生の問題よりむしろ都市計画・土地利用の問題へと変化してきています。
現在、本県における公営墓地の設置状況は、十七市町村が整備しており、その他の市町村については、整備されていない状況にあり、新規の墓地需要に十分に対応できていない状況となっています。
また、個人墓は、家族の移住や継者の喪失により無縁化する可能性もあり、無縁化した墓地が管理

皆様へのお願い
墓地の設置には、自分の土地であっても事前に県知事(移譲された市町村にあっては市町村長)の許可が必要です。墓地の散在化を防ぎ、土地利用や景観等に支障をきたさないよう県民の皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。
されなまま放置され、ゴミの不法投棄や衛生害虫の発生場所となるケースもでてきています。これらの墓地の課題を解決するためには、その受け皿となる公営墓地の整備が不可欠です。これらは、住民ニーズに応えられる適正に管理された墓地の適正価格での提供や墓地の需要へ充分対応できる供給体制の確立を図らねばならず、さらに無許可墓地も含め既存の個人墓地については、土地の有効利用や墳墓の維持管理を推進する観点から極力公営墓地への集約化を図ることが重要です。

墓地等許可の権限委譲及び申請窓口
平成24年4月1日から整備法の施行により、すべての市に、さらに条例に基づき2町村(南風原町・渡嘉敷村)に権限移譲したため、合計32市町村に移譲されています。申請窓口は下表の通りです。

墓地等設置許可等の申請窓口
市町村 課名 連絡先 墓地等の設置許可等の申請窓口(備考)
那覇市 環境保全課 098-951-3229 ○
宜野湾市 環境対策課 098-893-4411 ○
石垣市 環境課 0980-82-1285 ○
浦添市 環境保全課 098-876-1234 ○
名護市 環境対策課 0980-52-0003 ○
糸満市 生活環境課 098-840-8124 ○
沖縄市 環境課 098-939-1212 ○
豊見城市 生活環境課 098-850-5520 ○
うるま市 環境課 098-973-5594 ○
宮古島市 環境保全課 0980-75-5339 ○
南城市 生活環境課 098-946-8981 ○
国頭村 福祉課 0980-41-2765 ○
大宜味村 建設環境課 0980-44-3280 ○
東村 建設環境課 0980-43-2205 ○
今帰仁村 福祉保健課 0980-56-4189 × (個人墓地は北部保健所、法人墓地は本庁)
本部町 保健予防課 0980-47-5602 × (個人墓地は北部保健所、法人墓地は本庁)
恩納村 村民課 098-966-1205 ○
宜野座村 村民生活課 098-968-8501 ○
金武町 住民生活課 098-968-2460 ○
伊江村 建設課 0980-49-3162 ○
読谷村 健康環境課 098-982-9214 ○
嘉手納町 町民課 098-956-1111 × (個人墓地は中部保健所、法人墓地は本庁)
北谷町 保健衛生課 098-982-7033 × (個人墓地は中部保健所、法人墓地は本庁)
北中城村 生活環境課 098-935-2233 × (個人墓地は中部保健所、法人墓地は本庁)
中城村 住民生活課 098-895-2131 ○

お問い合わせ 県生活衛生課 TEL:098-866-2055 FAX:098-866-2723



イベント

泡盛マイスター日本主座決定戦

日時 4月8日(日)午後2時
場所 パシフィックホテル沖縄
2階万座の間

※大会観戦無料。

問合せ

県商工振興課
☎098-8666-2337
(社)泡盛マイスター協会
☎098-8661-5403

試験

平成25年度(平成24年実施) 教員候補者選考試験

●第一次試験日 7月22日(日)
●試験会場 那覇高校、小禄高校、その他4会場
●受験年齢 昭和42年4月2日以降に出生した者

募集

平成24年度奨学生募集

貸与奨学生を募集します。対象は国内の大学、大学院、高等専門学校もしくは専修学校(専門課程)に在学または入学予定の方及び沖縄県出身海外移住者の子弟で沖縄県内の大学もしくは大学院に在学または入学予定の方です。

●募集期間 3月15日(木)～4月16日(月) 問合せ

お知らせ

ダマされるな違法ドラッグ

「合法ハーブ」、「合法ドラッグ」と称しハーブやお香等を装い販売されていますが、大麻等の類似成分を含み大変危険な薬物です。違法ドラッグは「買わない、使わない、かかわらない」よう注意してください。

●問合せ 県業務疾病対策課
☎098-8666-2215

春の全国交通安全運動

4月6日から15日までの10日間、いそいそでも かならずかくにん みぎひだり一をスローガンに、全国一斉に春の全国交通安全運動を実施いたします。県民一丸となり交通事故のない安全で安心な社会を築きましょう。

●問合せ 県民生活課
☎098-8666-2187

日	月	火	水	木	金	土
4	1	2	3	4	5	6
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

日	月	火	水	木	金	土
5		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

「運転経歴証明書」制度が充実

運転経歴証明書とは、免許を自主返納した方の申請に基づき交付することができる過去五年間の経歴を証明するものです。

●旧運転経歴証明書は
・身分証として利用できる期間六ヶ月
・一度きりの交付で再交付なし
・住所等の記載事項の変更なし

●新運転経歴証明書は
・身分証としての利用が永久
・再交付可能
・住所等の記載事項変更が可能
・身分証としての活用が、より有効となります。

●問合せ 沖縄県警察本部交通部運転免許課
☎098-8511-1000

平成24年度前期技能検定

●実施職種 造園、建設機械整備など30職種

●受付期間 4月9日(月)～18日(水)

●問合せ 沖縄県職業能力開発協会
☎098-8662-4278



(財)沖縄県国際交流・人材育成財団 奨学課
☎098-9421-9213

テナント募集

沖縄県中央卸売市場内の店舗において、物品の販売や業務の提供を行う関連事業者を募集しています。

●募集業種
・市場の取扱品目(野菜、果実、花き等)以外の生鮮食料品等の卸売を行う者
・市場の取扱品目の保管、貯蔵、運搬等を行う者
・飲食店業、薬局、日用雑貨小売業者など

●募集業者数 10業者程度

●募集期間 随時。定数に達し次第締切します。

●問合せ 県中央卸売市場管理事務所
☎098-8665-2111

平成24年度就農サポート講座 受講生募集

●応募資格 就農を予定する他産業従事者やUターン青年等で60歳未満の方

●受講料 無料(ただし、保険料等は自己負担)

●実施期間
①第1回 5月下旬～8月下旬
②第2回 8月上旬～11月上旬

●募集期間
①第1回 4月2日(月)～27日(金)
②第2回 6月8日(金)～7月6日(金)

●募集定員 第1・2回 各30名程度

●実施場所 県立農業大学校(名護市大北)等

●問合せ 県営農業支援課
☎098-8666-2280

各施設行事予定表

県立博物館・美術館

☆休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)
☎098-941-8200

◆バックヤードツアー
日時:4月21日(土) 午後2時～3時(博物館)
4月28日(土) 午後2時～3時(美術館)
場所:当日9時より総合案内で受付
参加費:無料
定員:博物館、美術館とも各12名(先着)
内容:当館学芸員が、館のバックヤードを案内します。

◆美術館企画展
本土復帰40周年記念
田中一村展 一琉球弧で開花した美の世界
期間:3月30日(水)～5月6日(日)
場所:企画ギャラリー
入場料:一般1000円(800円)
高校生・大学生700円(560円)
小・中学生300円(240円)
※()内は前売料金及び20名以上の団体料金

◆博物館文化講座
シンポジウム
「語り始めた大地ー本部半島でのジオパーク活動」
日時:4月14日(土)午後2時～4時
進行:琉球大学講師 尾方隆幸
場所:博物館・美術館3階講堂
定員:当日先着200名
参加費:無料



県広報課からのお知らせ

4月放送予定

7日(土) / 放送なし
14日(土) / 放送なし
21日(土) / 県立博物館・美術館について
28日(土) / 沖縄県と太平洋諸島の交流



ラジオ 県民室

お昼のひととき、県が実施する行事や募集のお知らせなどを行っています。

放送時間/毎週月曜日～金曜日
ラジオ沖縄(864KHz) 11:50～11:55
RBCiラジオ(738KHz) 11:55～12:00
F M 沖縄(87.3MHz) 12:55～13:00

県政出前講座 実施中

現在、96種類の講座を提供中！
県の職員が講師として出向きます。
詳しくはホームページをご覧ください。

テレビ放送時間 / QAB 15:55～16:00 OTV 9:55～10:00

詳しくはホームページへ 沖縄県 検索 トップページ 広報・広聴について 広報誌、テレビ番組、県政出前講座等

県広報課 〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 kouhou@pref.okinawa.lg.jp

パスポートの申請窓口が変わります。

平成24年4月2日(月)より下記市町村にお住まいの方は、パスポートの申請・受取りについて県旅券センターから市町村窓口へ変わります。

- | 新 窓 口 | |
|-------|-------|
| ●沖縄市 | ●今帰仁村 |
| ●読谷村 | ●嘉手納町 |



開設済 24市町村窓口 (パスポート申請・受取)

石垣市、うるま市、宮古島市、国頭村、大宜味村、東村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、伊江村、北谷町、渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村、伊平屋村、伊是名村、久米島町、多良間村、竹富町、与那国町

※窓口が開設されていない市町村にお住まいの方は、これまでと同様に沖縄県旅券センターの窓口での申請・受取となります。

お問い合わせ 県旅券センター ☎098(866)2775



子どもたちに夢を！
皆で楽しみながら
夢のある町を
作っていきましょう！

小さな町がギネス協会も動かしたのね！

本島北部に位置する金武町。円高や長引く不況の影響で商業の停滞が続いている中、町に活気を取り戻したいと行政サイドでは、新開地と呼ばれる商業地区の道路や街灯整備、エリア内に公園を作るなど、地道に基盤整備に当たっていました。一方、町の商工会では、町子どもたちへ夢を与える、町おこしイベントを検討していました。「やるなら皆が参加できて一体感を共有できる楽しいものにしよう！」と、ジャンボタコライスづく



※写真は設置後の合成イメージ
ジャンボタコライスと同サイズの看板(横12m×縦1.8m)

タコライスの町宣言
町の物語を皆で一緒に
つくりあげながら
夢のある未来へ

魅力のある町づくりを皆で一緒に。

ギネス世界記録を樹立した二年後の平成二十四年三月、同町では「タコライス世界一の町

金武町

ギネス世界一を達成した町は、「タコライスの町宣言」をしてさらに元気に前進中です！



パーラー千里の元祖タコライス

祥の地とするタコライス、実は金武町を飛び出し、世界に認知されるメニューとなっていたのです。

世界一になる！

熱い思いが一つになって「記憶に残る記録」を達成させた

「元祖」と「世界一」のある町ってインパクト大！

これらの約一年半に及び記録へ挑戦するためのさまざまな調整を経て、平成二十二年十一月十一日、同町は、満を持してジャンボタコライス世界一へ挑戦しました。金武町で収穫された新米三百十キログラム、ひき肉二百キログラム、チーズ百キログラム、レタス八十八キログラム、トマト四十八キログラムを使って、商工会青年部、女性部、町内の八つのタコライス店の皆さんのサポートと、県内外から集まった約二千人の手によって作業が進められていきました。



ギネス認定証を掲げる商工会会長の國場盛光さん。認定のときには男泣きでした。左は金武町の儀武剛町長

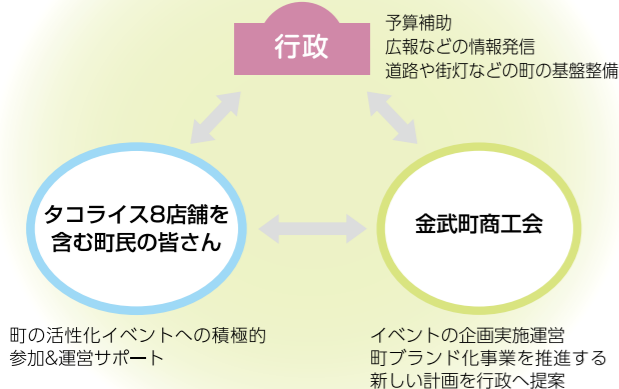


ギネス挑戦当日。町内のタコライス各店の皆さん、商工会の青年部・女性部の皆さんも大忙しでサポート

宣言を行いました。宣言に当たって、記録認定のときと同サイズの長さ十二メートル、幅一・八メートルの看板を作成。世界一の町の情報発信を行っています。同町産業振興課の安富祖勧さんは「このような活性化の成功事例を地道に増やして、基地の跡地利用や、町への誘客促進にうまくつなげられたら」と、町の将来展望を語ってくれました。また、タコライスの元祖であるパーラー千里の島袋小百合さんは、「町が盛り上がるのはとてもうれしい。これからも皆で協力しあって町のイベントにどんどん参加していきたい」と目をキラキラさせました。

「この世界一の町宣言で、町にも光が当たり、他の特産品などにも注目が集まれば、産業振興にもなる」と語るのは安村さん。金武町は「タコライス世界一の町」として、地域の人たちが夢を共有し合いながら、町の物語をさらに魅力的に紡ぎ始めています。

金武町「タコライス世界一の町宣言」



左から産業振興課の安富祖さん、商工会の安村さん、パーラー千里の島袋さん

町を元気にしたい！という想いの共有が、次に、どんな大きな感動を生みだすのか楽しみだね！

編集後記

広報誌の編集担当となり早一年。カメラ片手に取材に行ったり、締切前には原稿とにらめっこしたりと、これまで経験したことのない体験ができ、刺激的な日々でした。来月から編集担当は新体制に代わりますが、今後とも「美ら島沖繩」をご愛読くださるようよろしくお願いします。(kai)

広報誌担当は今月号で最後の私。これまでの集大成!!と気負い過ぎたのか、体調を崩しダウンしてしまいました。各担当の方々には迷惑をかけてしまい、申し訳ない気持ちでいっぱいです。さあ、今月から4月。忙しい時期かと思いますが、まずは健康第一でいきましょう!!(tama)

平成24年4月1日発行 第36巻4号通巻439号

沖縄県広報誌 **美ら島沖繩**

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020

アンケート

「美ら島沖繩」の感想をお聞かせください。

▶ パソコンはこちら

▶ 携帯電話は、右のQRコードから

